

ダブルスコープ株式会社 株主総会議事要旨

日時：2014年3月25日 10:00～11:30

場所：ゆうぼうと7F

議決権総数 141,705 個 株主数 3,382 名

議決権行使数 89,534 個 行使株主数 648 名

1. 第9期監査報告

2. 第9期事業報告書の報告

24日及び25日（総会当日）の当社の開示（日系及びもう1社のバッテリーメーカーからの受注）及び新聞記事（4号ラインの増設）に関連した補足説明があった。

3. 株主からの質問

問1：在庫について（質問者 株式会社ストラテジックキャピタル 丸木）

2011/12期の2.21億円の在庫が2012/12期は8.66億円と急増し、これが2013/12期の在庫調整による前年同期比3.55億円の営業利益の減少要因となった。本来であれば、2012/12期の決算で在庫の評価損を計上すべきであったのではないか。

また、2013/12期の在庫は9.43億円と増加している。粉飾決算の疑いを持っている。

回答1：（回答者：崔社長）

大きな供給契約を締結していたA123及びダウコカムの要求に応えるために在庫を増やした。結果的にA123がチャプターイレブンになったこと、ダウコカムが製造を継続できなかったことが、在庫を抱えてしまった要因。2年位保有した在庫もあるが、結果として売却できている。

問1-2：（質問者 株式会社ストラテジックキャピタル 丸木）

在庫が増えたとして、何故期末には評価損を計上しなかったのか、する必要があったのではないかと尋ねている。

回答1-2：（回答者：竹居取締役）

その時点で総合的判断して、販売できると考えていたため引当をせず、評価損を計上しなかった。結果として損失が出たことは事実。今後の在庫の管理は精度を高めたい。

問2：役員報酬について（質問者 株式会社ストラテジックキャピタル 丸木）

招集通知によれば、4名の取締役報酬は5,163万円、さらに韓国の子会社から崔社長に1,431万円、もう1名の取締役に1,753万円支払われている。日本人2名の取締役は部長兼任だ

から取締役報酬以外の報酬もあると思われる。いずれにしても、実質的に利益が出ていない状況で総額 8,300 万円超の取締役報酬は多過ぎると考える。業績不振による株価低迷で株主も苦しんでいる時期の取締役報酬は、控え目にすべきではないか。

回答 2: (回答者: 竹居取締役)

取締役会で検討し、同業他社と比較して妥当な金額と考えている。だが、貴重なご意見として今後の運営の参考とする。

問 3: 社外役員について (質問者 株式会社ストラテジックキャピタル 丸木)

会社法の改正案では、社外取締役を設置しない場合はその理由を説明する方向だ。当社には、何故社外取締役候補がないのか。

回答 3: (回答者: 竹居取締役)

独立性の高い監査役が居る。監査は十分にやっている。東証での社外取締役の議論については、承知している。今後の業績拡大等を考慮しつつ検討したい。

問 4: 今後の事業展開について説明して欲しい (質問者: 一般株主)

回答 4: (回答者: 崔社長)

中国では、電力、環境問題により、また、日本でも地震等の災害用に蓄電池 (ESS) が拡大する。潜水艦、人口衛星等の電池もリチウム電池の市場。水フィルター、産業向けフィルターなども気孔フィルムの分野。

5 月頃には当社の未来の新産業向けポートフォリオの活動、研究開発の成果等についてご説明する機会があると思う。

ティア 1 企業 (リチウムイオン電池の上位企業) との取引について昨日、4 社から 5 社に増えた。

今期の予想利益は保守的にした。

5 月又は 8 月には予想を見直して発表出来るのではないかと考える。

今年は、株主が失望しない結果を出したいので少し待つて欲しい。

4. 議案の採決 取締役 4 名選任の件

当社運営ファンドと共同保有の計 9%を含め、発行済株式数の約 24%が反対票を投じた。棄権票もあったため、議決権行使数の約 60%の賛成 (3/26 に提出された当社の臨時報告書により確認) により、4 名が再任された。

以上